

関係機関等との連携・協力

// 全国教育委員会、学校、関係団体、大学との連携・協力 //

NISEが実施する研究活動は、全国教育委員会、特別支援教育センター、園・学校等を研究協力機関として公募するとともに、関係機関と連携を図るなど、实际的・実践的な研究の円滑な推進に努めています。

また、関係学校長会等が実施する調査研究への協力を行うほか、全国特別支援教育推進連盟と連携・協力し、文部科学省と三者共催で全国特別支援教育振興協議会を開催しています。

さらに、全国の都道府県及び指定都市立教育センターが加入する全国特別支援教育センター協議会と連携して、各センターの機能向上のため、研究協議会を年1回開催しています。

加えて、令和3年3月には、広島大学との包括連携協定を締結し、同年4月に西日本ブランチ広島オフィスを開設したり、同年10月に、神奈川県教育委員会と、令和4年7月に、横浜市教育委員会との連携・協力協定を締結、令和6年3月に、国立高等専門学校機構と研究連携協力協定を締結したりと、各機関との連携を強化し、その取組が、全国の学校や教育委員会の課題解決に貢献できるよう努めています。



国立高等専門学校機構との協定締結式

// 日本人学校等への支援 //

NISEでは、日本人学校等に対して、NISEの研究成果や動画コンテンツのリーフレットなど、特別支援教育に関連する情報を「特別支援教育サポート通信」や「特総研だより」などを通じて年15回程度、提供しています。また、日本人学校を通じて、教員や保護者からの相談に対応し、支援を行っています。

さらに、文部科学省と連携して日本人学校における特別支援教育の状況調査を実施し、在外教育施設に赴任する教員の研修会等において、情報提供を行っています。

// 筑波大学附属久里浜特別支援学校との相互協力 //

筑波大学附属久里浜特別支援学校の前身である国立久里浜養護学校は、昭和48年9月に、国立特殊教育総合研究所(当時)が行う实际的な研究に協力する目的で、重度・重複障害児を対象に教育を行う学校として設置されました。その後、平成16年4月に、国立久里浜養護学校当時の実践を踏まえつつ、知的障害を伴う自閉症の子供たちに対して、幼稚園及び小学校に準ずる教育を行い、併せてその障害を補うために必要な知識技能を授けるため、筑波大学附属久里浜養護学校として設置されました。その後、平成19年に筑波大学附属久里浜特別支援学校と改称しています。

NISEと筑波大学は、平成16年7月に教育研究交流に係る協定を締結し、NISEと同校は相互協力の下に様々な取組を推進しています。

筑波大学附属久里浜特別支援学校Webサイト

<https://www.kurihama.tsukuba.ac.jp/>



筑波大学附属久里浜特別支援学校